

## 私立大学図書館協会 2022 年度西地区部会総会（メール会議）議事録

資料メール配信を行い、書面審議とオンライン回答により、部会総会を実施した。  
なお、オンラインフォームへの送信をもって出席とした。

開催期間：2022 年 6 月 17 日（金）～23 日（木）18:00

回答方法：オンラインフォームにより各加盟館が回答を送信する。

出席校数：215 校

加盟校 251 校に対し過半数の出席があり、本協会会則第 29 条第 4 項に則り、部会総会は成立した。

### 議事

#### I. 報告事項

1. 2021 年度西地区部会会務報告  
資料「I. 報告事項 (p. 3～6)」のとおり報告がなされた。
2. 2021 年度各地区協議会会務報告および各地区協議会研究会報告  
資料「I. 報告事項 (p. 7～23)」のとおり報告がなされた。
3. 2021 年度私立大学図書館協会会務報告  
資料「I. 報告事項 (p. 24～48)」のとおり報告がなされた。
4. 2022 年度協会役員校、委員会および協会関連団体等委員  
資料「I. 報告事項 (p. 49～51)」のとおり報告がなされた。

#### II. 協議事項

1. 2021 年度西地区部会決算（案）および監査報告について  
資料「II. 協議事項 (p. 52～53)」のとおり報告され、回答結果(承認 215 校、承認しない 0 校)により、原案どおり承認された。
2. 2022 年度西地区部会事業計画（案）について  
資料「II. 協議事項 (p. 54)」のとおり提案され、回答結果(承認 215 校、承認しない 0 校)により、原案どおり承認された。
3. 2022 年度西地区部会予算（案）について  
資料「II. 協議事項 (p. 55)」のとおり提案され、回答結果(承認 213 校、承認しない 2 校)により、原案どおり承認された。  
なお、承認しない理由の記載はなかった。
4. 西地区部会の組織・活動のスリム化について  
資料「II. 協議事項 (p. 56～58)」のとおり報告および下記 2 つの提案がなされた。

【提案 1】部会総会当番校を無くす（時期未定、近い将来）

回答結果(承認 213 校、承認しない 2 校)により、原案どおり承認された。  
承認しない理由については、次のとおり。

「最終的に部会総会の会務を部会長校が担えるのであれば、担当をなくすことに反対ではありませんが、重要な決断であると考えするため、スリム化に関してこれまでの検討の報告を聞かせてもらい、加盟館が直接に質問できる機会（オンラインの説明会など）を設けてほしい、と考えます。特に、部会長校の輪番を見直す場合、部会長校を担う大学にとって部会総会当番校をなくすことによってどういった影響が生じるのか、またこの判断はどのような検討の経緯を踏まえての決断であったのか等を知りたいと考えます。HP に資料等を掲出されていることは大変ありがたいのですが、掲出された資料や議事録について直接に質問する機会は、これまでもなかったと思います。また、総会について集合開催の負担は理解できますが、質疑応答の機会を確保するために、オンラインでの開催も検討してほしい。以上、自由記述欄に意見として記入することも検討しましたが、総会当番校をなくすことが、部会長校の輪番を担当する加盟館への影響が大きいことを考慮し、何らかの意見交換の場の設定を求めたいため、敢えて承認しないと回答します。」

「総会当番校が担当していた業務を部会長校がすべてを行うことになるのでしょうか？たとえメール会議で行うとしても、部会長校の負担にはならないのでしょうか？また、重要な案件もありますので、すべてメール会議で済ませることに疑問を感じます。コロナ禍で Zoom などのオンラインツールの利用が一気に加速し、現地に行けなくても会議に参加できる仕組みが整ってきました。多用な方法を提供し、参加館が選択できればよいと思います。オンライン（Zoom など）であれば、小グループに分かれて会話をすることもできるはずですが、総会や研究会で参加館の方々と情報交換をする機会が激減し、図書館員同士のつながりが希薄になっていると感じています。②の資料の冊子を作成しない件は承認できますが、①にはもう少し検討の余地があると考えため、承認しないを選択しました。」

《役員会からの説明》

今後も付帯事項①「部会総会」をメール会議とする。付帯事項②資料の冊子は作成しない。の方法で部会総会を実施するのであれば、2021・2022 年度西地区部会長校が業務を行った経験から、部会長校が総会のほぼ全ての業務を行うこととなっても大きな負担増とはならないと考えています。総会当番校の主な業務は「会場確保」「案内文書の原案作成」「当日の進行・運営」「資料冊子印刷」です。「資料冊子」については、入稿原稿のとりまとめは部会長校が行い、当番校は印刷会社とのやり取りのみでしたので、部会長校業務は従前どおりです。また、承合事項の回答集のとりまとめも従前から提案館です。メール会議とすることで経費が不要となるため会計処理業務が減じられます。加盟館相互の情報交換の機会が減ることについては役員校一同残念な思いは同じですが、各館専任職員の激減・業務委託の激増という現実もありますので、メール会議とすることについてご理解いただければ幸いです。

【提案 2】部会長校の輪番制の対象校の基準について、「収容定員数※1 を基準とし、専任職員数を考慮する」※1 西地区部会スリム化検討委員会の基礎資料としての調査結果（基準日 2021 年 4 月 1 日、2021 年 5 月西地区部会全加盟館に調査実施）に基づく、収容定員数

回答結果(承認 213 校、承認しない 2 校)により、原案どおり承認された。

承認しない理由については、次のとおり。

「『職員数を考慮する』ですが、具体的な基準をお示しいただかないと判断ができないため。」

「恐れ入りますが「どのように」専任職員数を考慮するのかが不明であり、判断いたしかねます。専任に限らず全図書館職員数の場合での考慮はされないのでしょうか。」

《役員会からの説明》

専任職員数をどのように考慮するのかわについては、現段階でお示しできる案はなく、今後の地区協議会でのスリム化の検討結果やスリム化検討委員会での調整を経て具体案を作成する必要があると考えています。

\*\*\*\*\*

なお、自由記述欄に記載された「各加盟館からのご意見」について、役員会からの説明を含め下記にまとめました。全て「協議事項4. 西地区部会の組織・活動のスリム化について」に関するご意見でした。

#### 【大谷大学図書館】

念のために確認させていただきたいのですが、【協議事項4】提案2の部会長校の対象校について、「文科省に報告する必要がある「収容定員数」～」という話の流れですので、「専任職員数」につきましても、学校基本調査で回答する大学全体の「専任職員数」というご理解でよろしかったですね。

《役員会からの説明》

大学全体の専任職員数ではありません。輪番制の見直しの際に参照する数値は、資料 p. 57 にありますとおり「※1 西地区部会スリム化検討委員会の基礎資料としての調査結果（基準日 2021年4月1日、2021年5月西地区部会全加盟館に調査実施）」の「収容定員数」や「図書館専任職員数」です。大学図書館別に集計及び公表されている統計資料はないため、西地区部会スリム化検討の基礎調査として実施したものです。

#### 【関西大学図書館】

協議事項4・提案2について、「基準とする要素」に専任職員数を含めることには賛成しますが、「考慮する」ことが何を意味するのかが現時点では明確になっていないように思います。

#### 【関西学院大学図書館】

協議事項4について、当初の地区協議会の廃止を含めた議論から、やや小粒の案になった印象です。役員館の皆様で今後の方向性などご検討くださっていると思いますので、必要に応じ総会以外にも、情報提供や意見交換の場を設けてもいいと考えます。

また、提案2につきましても賛成ですが、（部会長校だけでなく）会長校の選出についても、同様の基準を適用することも考えられると思います。

誤認や理解不足がありましたら申し訳ありませんが、よろしく願いいたします。

#### 【近畿大学中央図書館】

協議事項4につきましても、スリム化検討委員会および役員会の議事要旨を改めて確認させていただきました。参加館から直接質疑の機会が設けられなかったのは残念ですが、承認させてい

たきます。

**【関西医科大学附属図書館】**

スリム化の方針に沿って、協議会活動の縮小を望みます。

**【広島経済大学図書館】**

協議事項4・提案1に賛成しますが、「時期未定・近い将来」ではなく2023年度から実施した方が良いと思います。

**【愛知学院大学図書館情報センター】**

スリム化について、「専任職員数」は是非考慮していただきたい。本学は、学生数12,000人規模の大学でありながら、年々図書館における専任職員数が減少し、所属長の私を含めて現在3名で運営しており、通常業務だけでもかなりひっ迫している職場環境となっているため。

**【名古屋外国語大学・名古屋学芸大学図書館】**

スリム化検討に関しては非常に困難な点が多いと思いますが、今回の提案は無理に事を進めず、各地区の実情を尊重して下さったものと感じています。ありがとうございました。

**【南山大学図書館】**

「協議事項4・提案2について」

専任職員数は各大学の政策に基づき決定される数であり、専任職員数を考慮するのは不適切だと思う。また、西地区部会役員会・総会に係る業務委託の検討は必要だと思う。

《役員会からの説明》

私函協西地区部会では2015年度より様々な活動のスリム化について検討・総会決定を重ねてきており、以下の項目において既にスリム化が決定・実現されています。

**【西地区部会活動に際し、すでに現在実施している事項】**

1. 役員会の回数を削減し、役員校の負担を軽減
2. 研究会運営委員会を、対面会議からメール会議に形態変更し、担当校・役員の負担を軽減
3. 西地区部会「総会」「研究会」の同日開催の実施（2019年度～）による効率化

なお、2020年度に、今回のスリム化の検討においては、まずは地区活動を縮小することをめざし、当面の間地区協議会を継続することが決定しています。この決定は、地区により活動状況はかなり異なっており、他の地区の活動状況を参考にしながら「地区の現状にあった地区活動」を地区所属の加盟館間で調整することで当該加盟館の納得のいくスリム化が実現可能であると考えられるからです。2020年度後半から現在進行形で、各地区協議会にて地区の現状にあったスリム化検討が行われていると報告を受けております。西地区全体についても、大学図書館としての理想は掲げつつも、現実に向き合った変更案が見いだせるよう、検討を進めていきたいと思っておりますので、引き続きご協力とご理解をよろしくお願いいたします。

**Ⅲ. 承合事項**

1. 「買切型の電子書籍の会計処理について」（福岡女学院大学）

福岡女学院大学より、他館の電子書籍の会計処理を参考にしうえで電子書籍の会計処

理を改めて検討したいとの趣旨で提案がなされた。事前アンケートにより 169 館からの回答を集計し、他館の状況について報告がなされた。

## 2. 「電子資料に係る学内規程について」(福岡大学)

福岡大学より、電子資料に係る学内規程を準用ではなく正式に策定する必要があると考え、他館の電子資料に関する管理、調達規程を参考にさせていただきたい趣旨で提案がなされた。事前アンケートにより 159 館からの回答を集計し、他館の状況について報告がなされた。

## 3. 「購読希望の学術雑誌から取捨選択を行う際の基準について」(沖縄国際大学)

学術雑誌(冊子/電子)、特に外国雑誌の購読料が毎年値上がりすることが確実なうえに予算が限られている状況で、購読を希望するすべての学術雑誌のなかから取捨選択を行う際の明確な基準を策定する必要に迫られていることから、他館の具体的な選定方法を紹介させていただきたいとの趣旨で提案がなされた。事前アンケートにより 169 館からの回答を集計し、他館の状況について報告がなされた。

なお、各加盟館からの回答集計結果の回答集については、私図協協会 HP の西地区部会ページに PW 付きで掲載された。

## IV. 確認事項

1. 2022・2023 年度西地区部会役員校について  
資料「IV. 確認事項 (p. 62)」のとおり確認がなされた。
2. 2022・2023・2024 年度西地区部会当番校について  
資料「IV. 確認事項 (p. 62)」のとおり確認がなされた。
3. 2022 年度西地区部会関連行事日程について  
資料「IV. 確認事項 (p. 63)」のとおり確認がなされた。

以上

### <資料内容修正>

なお、資料 (p. 3 と p. 24) の 2021 年度脱退届出校(2022 年 3 月 31 日付脱退)の西地区 3 校の受理日について、後日会長校による確認の結果、下記に修正することとなった。

- ・徳山大学図書館 2022 年 2 月 7 日受理(修正前 2 月 10 日)
- ・嵯峨美術大学・嵯峨美術短期大学附属図書館 2022 年 3 月 11 日受理(修正前 3 月 16 日)
- ・愛知医科大学総合学術情報センター 2022 年 3 月 29 日受理(修正前 3 月 31 日)